

2022年11月16日

会員各位

日鉄エンジニアリング
北九州技術センター 安全衛生協力会

2022年ー2023年 年末・年始災害防止活動の実施について

I. 活動の趣旨

ご安全に！ 今年の当技術センター関係の安全成績は、休業2件、不休業12件及び軽処置12件が発生しています。更にグループ会社を含めると、休業17件(内熱中症2件)、不休業30件、軽処置12件が発生しています。技術センター関係では墜落による災害はなく、年間重点活動に挙げた墜落災害防止対策が徹底されたと評価できます。グループ全体では昨年に比べ休業(5件⇒17件)、不休業(23件⇒30件)、軽処置(8件⇒12件)と件数は6割増となっています。災害の型別では「挟まれ・巻き込まれ」「切れ・こすれ」及び「動作の反動」が多発しています。これらは年間重点活動事項である ①危険予知(KY)活動の活性化 ②不安全行動対策強化 が十分にされていない状況だったと反省させられます。そこで、本期間の活動では年間重点活動事項の再徹底に加え、一人ひとりがしっかり安全に取り組み、災害ゼロを達成させましょう。

当協力会は、日鉄エンジニアリング(株)北九州技術センター殿の『年末年始労働災害防止強調期間活動』を展開するとともに、継続的实施すべき事項を日々着実に実行し、無事故で明るい正月を迎えましょう。

II. 活動期間 : 2022年12月1日～2023年1月15日

III. スローガン : 『 無事故の歳末・明るい正月 』(建災防)
『 待ってます 元気なあなた 明るく迎える年末年始 』(中災防)

IV. 重点実施・事項

1. 活動趣旨の啓発

- (1) 各社事業所トップ・管理者による活動趣旨の説明・呼びかけ
- (2) 日鉄エンジニアリング(株)安全衛生・環境部長メッセージの配信及び年末・年始啓発ビラ配布
- (3) 安全祈願祭の実施
- (4) ポスターの掲示等

2. 安全管理マネジメントの強化

- (1) 現場や現地をしっかりと確認し、作業内容に則した指導監督を強化
 - ① 管理・監督者による各作業グループへの TBM・KY への参加および指導
 - ② 管理・監督者による声掛け・対話型パトロールの実施
- (2) RKY 活動を粘り強く指導し、リスク顕在化のうえ実効的対策を徹底
 - ① 作業員全員への RKY 実施状況動画を用いた教育の実施
 - ② 日々の KY、節目の KY および朝礼、安全大会での過去災害 DB(SAGUR)の活用の推進
- (3) 各部門における災害事例を教訓とした災害予防対策の浸透度合いの確認および評価
(言いっぱなしにしない。実査・確認・フォローの徹底)
 - ① 今年の休業災害を主とした事例が反映されているか、チェックリストによる確認およびフォロー
 - ② デジタルサイネージを活用した安全情報の展開(過去災害再現動画、安全教育啓発動画等)および酸欠・ガス中毒防止ミニ展示会開催(12月)

3. 墜落災害防止対策の徹底

- (1) 足場計画・墜落防止設備計画に対する着工前安全審査の確実な実施
- (2) 足場設置時および工事進捗状況に応じた墜落災害防止対策の確認の実施
- (3) 管理者・監督者の安全パトロール声掛けによる不安全行動の防止

4. 新規入場者および未熟練者への配慮

- (1) 新規入場者・未熟練者への声掛けの強化(可視化シール活用)
- (2) 新規入場者・未熟練者が現場や作業に慣れるまで、管理・監督者によるケアを徹底する
 - ① 職長は新規入場者・未熟練作業者を複数人作業に就け、常に目の届く範囲に配置する
 - ② 職長は未熟練作業者に対するコーチャー役を選任して、現場でのケアに当たらせる
 - ③ 施工業者・現場管理者は配置を確認する
- (3) 新規入場者との直接対話による作業熟練度の見極めと厳格な適正配置の実施
作業経験年数、実施する作業の経験の有無及び作業指揮命令系統等を対話する

5. ライン管理者、店社スタッフによるパトロールの強化とパトロール時の作業員への声掛け

- (1) ライン管理者・店社スタッフ・協力会社事業主による現場巡視の強化
※作業員への声掛け、年末年始活動計画の実施状況確認

6. 身の回りの危険要因の点検と自己啓発の実施

- (1) 転倒災害防止
転倒災害防止資料を活用した自己啓発に努める
- (2) 交通災害防止
交通災害事例、安全運転マナー、危険予測トレーニングに関する情報を活用し、交通災害防止に努める

7. 冬季特有の活動

- (1) 感染症(コロナ、インフルエンザ、胃腸炎等)予防の推進
体調管理と手洗いうがいの励行、必要に応じて予防接種やマスク着用
- (2) 冬季環境(路面凍結や積雪・強風等)に対する注意
 - ① 積雪・凍結による転倒災害、墜落災害の防止(通路、階段、足場上の除雪、融雪措置)
 - ② 一酸化炭素中毒の防止
(屋内で石油ストーブ等を使用する際の換気の徹底、自然換気の不十分な場所での内燃機関を有する機械の使用禁止)
 - ③ 車両等のスリップ事故等の交通労働災害の防止
 - ④ 作業時の保温・体操の実施
(防寒衣の着用等による保温の徹底。作業開始前及び作業の合間の筋肉をほぐす体操の励行)
- (3) 交通事故防止に対する意識向上、飲酒運転厳禁の徹底

V. 期間中の行事等

1. 12月1日(水) 日鉄エンジニアリング(株)安全衛生・環境部長メッセージの配信
2. 12月1日(水) 年末啓発声掛け ※メールでビラ配布し放送で周知
3. 12月15日(木) 酸欠・ガス中毒防止ミニ展示会@S館1階プレゼンルーム
4. 1月10日(火) 8:00~ 北九州技術センター安全祈願祭(高見神社)
5. 1月11日(水) 年始啓発声掛け ※メールでビラ配布し放送で周知